

# 平成 26 年度 事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

## 目 次

### I 法人の概要

- 1 法人の名称
- 2 法人の所在地
- 3 認可年月日
- 4 沿革及び学園の組織
  - (1) 学園の沿革
  - (2) 学園の組織
  - (3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名
  - (4) 設置する学校の名称及び所在
  - (5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生数の状況
  - (6) 設置する学校・学科等教員数の状況

### II 事業の概要

※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

### III 財務の概要

※別紙資料の通り

学校法人 三浦学園

## I 法人の概要

### 1 法人の名称

学校法人 三浦学園

### 2 法人の所在地

東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号

### 3 認可年月日

昭和 26 年 3 月 9 日

### 4 沿革及び学園の組織

(1) 学園の沿革 (別紙参照)

(2) 学園の組織 (別紙参照)

(3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名

#### ①理事・監事

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

| 役職  | 職名・担当職務 | 氏名        | 現職             |
|-----|---------|-----------|----------------|
| 理 事 | 理事長     | 三浦 洋義     | 学園長兼務          |
| 理 事 |         | 原 聡介      | 有明教育芸術短期大学学長   |
| 理 事 |         | 根岸 順一     | 法人本部事務局長       |
| 理 事 | (学外)    | 志賀 平治     | 学園評議員          |
| 理 事 | (学外)    | 井上 嘉明     | 井上税務会計事務所長     |
| 理 事 |         | (死亡のため欠員) |                |
| 監 事 | (学外)    | 朝倉 和行     | (株)朝倉代表取締役     |
| 監 事 | (学外)    | 北村 光治     | (株)キタムラ地所代表取締役 |

#### ②評議員

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

| 役職  | 職名・担当職務 | 氏名     | 現職            |
|-----|---------|--------|---------------|
| 評議員 |         | 三浦 洋義  | 学園長・理事長       |
| 評議員 | (学外)    | 森戸 由久  | 創価女子短期大学名誉教授  |
| 評議員 | (学外)    | 志澤 徹   | 弁護士・志澤綜合法律事務所 |
| 評議員 |         | 石井 永美子 | 理事室付          |
| 評議員 |         | 井田 良克  | 日本音楽高等学校校長    |
| 評議員 | (学外)    | 新井 清   | (有) 希望商事代表取締役 |
| 評議員 | (学外)    | 平井 キミ子 | 日本音楽高等学校同窓会監査 |
| 評議員 | (学外)    | 橋爪 弥生  | 日本音楽高等学校同窓会幹事 |

|     |      |       |                 |
|-----|------|-------|-----------------|
| 評議員 |      | 水本 眞澄 | 日本音楽学校幼稚園長      |
| 評議員 |      | 渋谷 匡  | 学園事務局広報課長       |
| 評議員 | (学外) | 三浦 裕明 | 中央総合会計事務所嘱託     |
| 評議員 |      | 根岸 順一 | 法人本部事務局長        |
| 評議員 |      | 中西 菊乃 | 有明教育芸術短期大学事務局次長 |

(4) 設置する学校の名称及び所在地

| 名称                                                                | 所在地                             |
|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 有明教育芸術短期大学<br>子ども教育学科<br>芸術教養学科                                   | 〒135-0063 東京都江東区有明二丁目 9 番 2 号   |
| 日本音楽高等学校<br>普通科 (幼児教育コース)<br>音楽科 (音楽コース)<br>(バレエコース)<br>〈舞台芸術コース〉 | 〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号 |
| 日本音楽学校幼稚園                                                         | 〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号 |
| 日本音楽学校保育園                                                         | 〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号 |

(5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生数の状況

〈平成 26 年 5 月 1 日現在〉

|               | 入学<br>定員 | 収容<br>定員 | 学生生徒<br>現 員 数 | 平成 26 年度<br>入学者数 |
|---------------|----------|----------|---------------|------------------|
|               |          |          |               | 名                |
| 有明教育芸術短期大学    | 名        | 名        | 名             | 名                |
| 子ども教育学科       | 100      | 300      | 259           | 100              |
| 芸術教養学科        | 90       | 180      | 63            | 36               |
| 日本音楽高等学校      | 100      | 300      | 220           | 68               |
| 普通科 (幼児教育コース) | 30       | 90       | 42            | 11               |
| 音楽科 (音楽コース)   | 70       | 210      | 51            | 16               |
| (バレエコース)      |          |          | 75            | 22               |
| 〈舞台芸術コース〉     |          |          | 52            | 19               |
| 日本音楽学校幼稚園     | 35       | 150      | 104           | 35               |
| 日本音楽学校保育園     | 9        | 26       | 31            | 8                |

(6) 設置する学校・学科等教員数の状況

①短大教員

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

| 学科等        | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 合計 | 兼務者   |
|------------|----|-----|----|----|----|----|-------|
| 有明教育芸術短期大学 |    |     |    |    |    |    |       |
| 子ども教育学科    | 6  | 7   | 1  | 1  | 0  | 15 | 44    |
| 芸術教養学科     | 6  | 1   | 0  | 0  | 0  | 7  |       |
| 合計         | 12 | 8   | 1  | 1  | 0  | 22 | 総計 66 |

\* 学長・副学長は教授に算入

②高校・幼稚園・保育園教員

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

| 設置校名      | 専任教諭・保育士 | 兼務者 |
|-----------|----------|-----|
| 日本音楽高等学校  | 16       | 45  |
| 日本音楽学校幼稚園 | 6        | 0   |
| 日本音楽学校保育園 | 12       | 0   |

## II 事業の概要

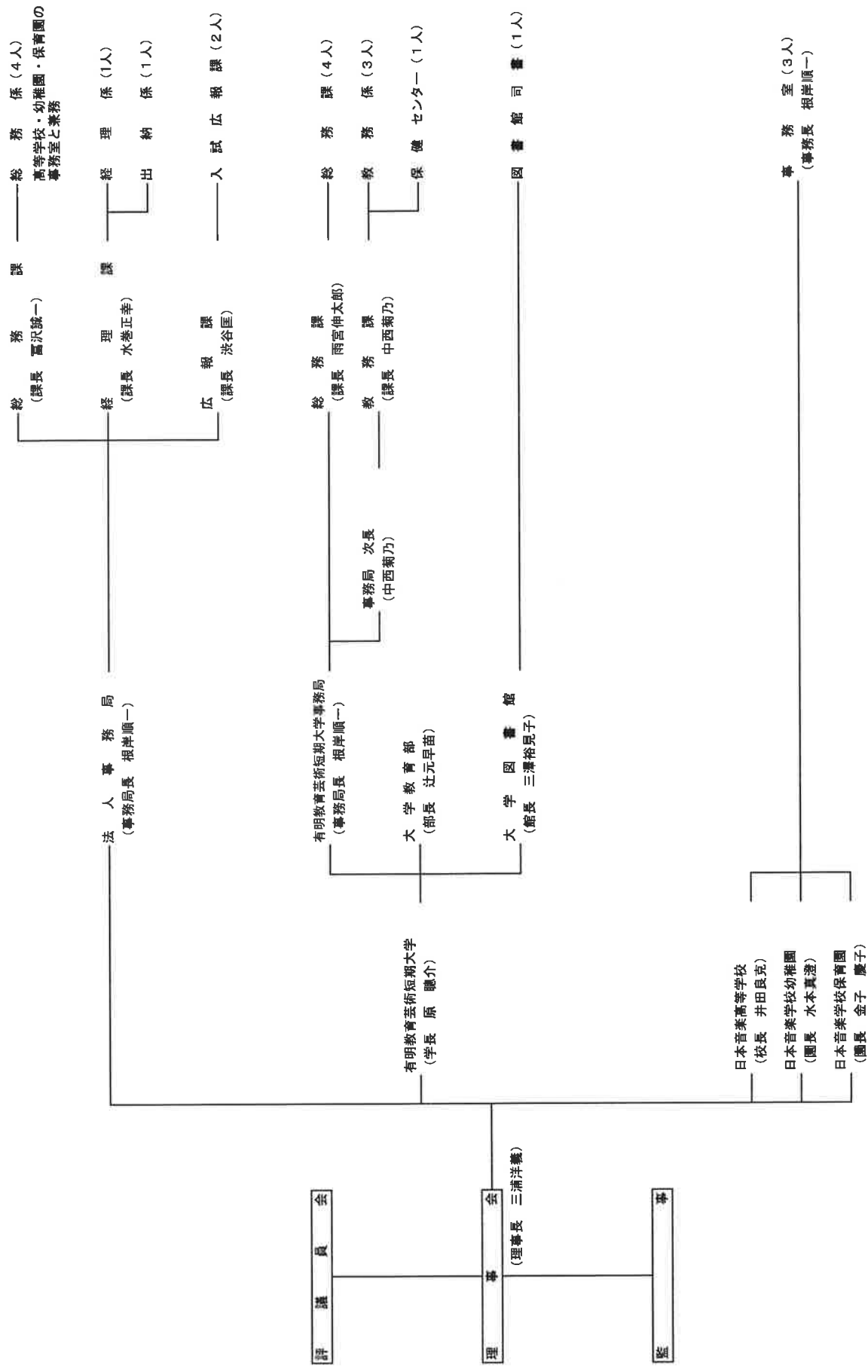
※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

## III 財務の概要 別紙資料の通り

# I - 4 - (1) 学園の沿革

|       |       |                                                   |
|-------|-------|---------------------------------------------------|
| 法人の沿革 | 明治36年 | 山田源一郎により我が国初の私立音楽学校「音楽遊戯協会」として神田淡路町に創立            |
|       | 明治39年 | 女子音楽学校(女子)・日本音楽協会(男子)に名称変更                        |
|       | 大正12年 | 校舎を中野打越に移転                                        |
|       | 昭和2年  | 日本音楽学校に名称変更。創立者・初代校長 山田源一郎死去                      |
|       | 昭和22年 | 校舎を品川区豊町に移転                                       |
|       | 昭和24年 | 日本音楽学校附属幼稚園および日本音楽学校附属新井幼稚園を設置                    |
|       | 昭和25年 | 日本音楽学校附属豊小学校、日本音楽学校附属豊中学校、日本音楽高等学校を設置             |
|       | 昭和28年 | 日本音楽学校に我が国初の教員養成機関(中学校音楽教諭養成科)を設置し、文部大臣の指定認可を受ける  |
|       | 昭和29年 | 日本音楽学校に文部大臣指定の幼稚園教諭養成科を設置                         |
|       | 昭和36年 | 日本音楽学校附属新井幼稚園を廃止                                  |
|       | 昭和47年 | 日本音楽学校に厚生大臣指定の保母養成科を設置                            |
|       | 昭和53年 | 日本音楽学校が専修学校に認可                                    |
|       | 昭和63年 | 日本音楽学校創立85周年事業の一環として2号館校舎(教室、中ホール)竣工              |
|       | 平成4年  | 日本音楽学校創立90周年事業の一環として三浦記念館(大ホール、幼稚園舎、視聴覚教室、特別教室)竣工 |
|       | 平成5年  | 三浦洋義理事長及び学園長に就任                                   |
|       | 平成7年  | 日本音楽学校附属豊小学校及び日本音楽学校附属豊中学校を廃止                     |
|       | 平成9年  | 日本音楽学校にレクリエーション・インストラクター資格者と児童厚生指導員の養成課程設置        |
|       | 平成11年 | 厚生大臣指定東京聖星社会福祉専門学校(介護福祉学科)設置                      |
|       | 平成13年 | 日本音楽学校保育園設置                                       |
|       | 平成15年 | 日本音楽学校創立100周年                                     |
|       | 平成20年 | 有明教育芸術短期大学 認可(10月31日)                             |
|       | 平成21年 | 有明教育芸術短期大学子ども教育学科及び芸術教養学科の二学科で開学                  |
|       | 平成22年 | 日本音楽学校を廃止 日本音楽学校附属幼稚園を日本音楽学校幼稚園に園名変               |
|       | 平成23年 | 日本音楽高等学校 音楽科「舞台芸術コース」設置 東京聖星社会福祉専門学校を廃止           |
|       | 平成27年 | 有明教育芸術短期大学芸術教養学科学生募集停止                            |

(平成27年3月31日現在)



## 平成26年度 有明教育芸術短期大学 事業報告

### 1 教育活動

- ・通常の時間割及び大学暦に従って授業を行い、実施上に特段の問題はなかった。
- ・自己点検の一環によるシラバス等を一部変更した。
- ・欠席が多い学生に対し、教務委員及びクラス担任による学期ごとの継続指導を実施した。
- ・毎年行っている新入生研修を実施した。
  - ①日時 4月25日(金)
  - ②場所 山梨県富士吉田市「富士急ハイランド」
  - ③参加者 1年生133名(欠席者3名)、2年生9名、教職員11名
- ・喫煙、盗難、違法駐車、施設使用等に関してポスターの掲示や授業「学習と表現の技法」で注意を喚起した。また、サークル及び学生有志(同好会)による学内活動について指導した。
- ・2015学生ハンドブックを作成した。
- ・以下のFD活動を行った。
  - ① 授業評価の実施とその結果に関するコメントの回収
  - ② 教員相互による授業見学の実施

### 2 研究・研修活動

#### (1) 紀要第6巻刊行

- ・紀要の号数、表紙及び裏表紙記載事項、レイアウト等を整備・修正した。
  - ① 原著論文 5
  - ② 実践研究 2
  - ③ 調査報告 1
  - ④ 研究ノート 1
  - ⑤ 展望 1

#### (2) 文部科学省科学研究費助成金による研究

- ・本学教員を研究代表者とするものは以下の通りである。
  - ① 若手研究B「保育者養成における劇表現指導法」(研究代表者:山本 直樹)
  - ② 基礎研究C「江戸～大正期の常盤津節演奏家研究」(研究代表者:前原 恵美)

#### (3) 教員の各種研修

- ・研修願提出により大学が承認した専任教員の件数は192件(子ども教育学科:122件、芸術教養学科70件)であった。

### 3 入学試験

- ・AO入学試験、推薦入学試験、一般入学試験を実施した。
  - ① AO入学試験 7回実施 出願者49名
  - ② 推薦入学試験 4回実施 出願者64名(日本音楽高等学校12名、東京都立篠崎高等学校7名含)
  - ③ 一般入学試験 3回実施 出願者3名

### 4 学生支援

#### (1) 学園祭運営補助と支援

- ・学生の教育活動全体の活性化に繋がる行事として有明祭運営費を補助し、支援した。
  - ①開催日時 11月1日(土～2日(日))

②内容 学生による発表会・模擬店等

③来場者は在校生を含めて約 600 名（前年度に比べて約 250 名増）

## （2）スポーツ大会支援

- ・有明小学校にて第 1 回スポーツ大会（参加学生 22 名）を実施した。

## （3）実習支援

- ・子ども教育実践総合センターで行っている子育て支援の実際を実習支援として活用した。
- ・同じく、親子サロン活動の場でプレ実習事後指導を行った。

## （4）読書感想文コンクール

- ・学生による図書館利用の活性化を図るための読書感想文コンクールを実施した（応募数 4 件）。

## （5）附属図書館による情報教育推進支援

- ・新入生に対して図書館利用に関するガイダンスを行った。
- ・卒業研究支援の一環として資料検索法のガイダンスを行った。

## （6）修学支援

- ・授業料の減免制度（学則第 67 条）及び入学金の減免制度（学則第 68 条）による修学支援や学納金減免措置等による修学支援を行った。

## （7）学生相談

- ・新入生オリエンテーションを実施し、学生相談室の紹介と利用方法を説明した（利用件数述べ 5 件）。

①自発来談 3 件

②教職員からの紹介 2 件

③相談内容 対人関係、性格に関する悩み等

## （8）就職活動支援

- ・「学習と表現の技法」時間内で就職ガイダンスを次の通り実施した。

①子ども教育学科：4 回（1 年生 1 回、2 年生 1 回、3 年生）

②芸術教養学科：1 回（1 年生対象）と外部講師（ゲストスピーカー）による就職活動セミナーを 7 回

- ・上記授業外に就職ガイダンスを実施した。

①2 学科合同 3 回

②子ども教育学科 1 回

③芸術教養学科 4 回

- ・子ども教育学科 2 年生対象に公務員試験対策講座を実施した（受講生 5 名）。

- ・芸術教養学科 2 年生対象に担任による進路面談を実施した。

- ・求人依頼状を発送した。

発送先：幼稚園 39 件、保育所 702 件、施設 24 件、一般企業 3, 627 件

- ・就職状況は次の通りであった。

①子ども教育学科：卒業者 49 名 就職希望者 37 名中、36 名が就職

②芸術教養学科：卒業生 24 名中 13 名の進路が決定（就職 8 名、進学 5 名）

## 5 管理業務

### （1）役職者の人事

- ・平成 26 年 4 月 1 日付就任者は次の通りである。

① 羽田 紘一教授 副学長

② 諸井 泰子教授 子ども教育学科長

③ 三澤裕見子教授 附属図書館長

④ 氏森 英亜教授 子ども教育実践総合センター長就任

- ・平成 27 年 3 月 31 日付で原 聰介学長が退職により学長を離任した。



## (2) 教員人事(採用と退職)

- ・平成 26 年 4 月 1 日付で 5 名を採用した。
  - ① 氏森 英亞 特任教授 (子ども教育学科)
  - ② 大貫 耕一 准教授 (同 上)
  - ③ 木庭みち子 同 上 (同 上)
  - ④ 深澤 瑞穂 同 上 (同 上)
  - ⑤ 山田麻美子 同 上 (同 上)
- ・平成 27 年 3 月 31 日付で大貫耕一准教授が退職した。
- ・平成 27 年 3 月 31 日付退職者(1 名)後任補充人事を行った。

## (3) 入学試験の中止

- ・平成 28 年度に予定されている学科構成の変更に伴い、芸術教養学科の平成 27 年度入学試験を実施しなかった。

## (4) 子ども教育学科入学定員の再変更

- ・平成 28 年度以降の入学定員を 130 名としていたのを現状の 100 名に留めることとした。

## (5) 教員人事管理

- ・教員の学外活動について適正な管理を行った。
- ・「研修願」の提出があった各種研修数は 192 件(子ども教育学科 122 件、芸術教養学科 70 件)であった。
- ・他学における非常勤講師等による学外活動は次の通りであった。
  - ①他大学非常勤講師 12 件(子ども教育学科 9 件、芸術教養学科 3 件)
  - ②委員委嘱及び研修会等講師 25 件(子ども教育学科 21 件、芸術教養学科 4 件)

## (6) 情報管理

- ・情報管理システムを整備した。

## (7) 自己点検・評価

- ・平成 25 年度の自己評価報告書の作成に取り組んだ。
- ・他短期大学を訪問し、自己点検・評価及び第三者評価のに関する情報交換を行った。
- ・同 27 年度に実施される認証機関による外部評価に向けて報告書の作成に取り組んだ。

## (8) 施設整備管理

- ・施設の学外貸出件数は 13 件である。

# 6 人権

## (1) 規定の整備

- ・人権に関する規定を整備した。

## (2) 啓発リーフレット配布

- ・平成 25 年度に作成したリーフレットに同 26 年度相談員名を載せて教職員と学生に配布した。

## (3) ハラスメントへの対応

- ・有明教育芸術短期大学ハラスメント予防及び処理に関する規則を整備した。

# 7 対外活動

## (1) 学生募集活動

- ・ホームページの入学試験情報を更新整備した。
- ・オープンキャンパスを 14 回実施した。

- ① 参加者 延べ 363 名
- ② 受験対象者 277 名

なお、参加者は特に擬授業に良好な興味を示したため、今後のさらに工夫する。

- ・Facebook Twitter の媒体を用いて、学生による同世代高校生に対する公報の工夫を試みた。

## (2) 高等学校との協力

- ・特別提携校（日本音楽高等学校及び東京都立篠崎高等学校）との教育連携を行った。
- ・都立高等学校への出前授業を行った（2校）
  - ①都立桐ヶ丘高等学校 担当教員：赤坂 澄香
  - ②都立篠崎高等学校 担当教員：山本 直樹
- ・都立高校2校からの本学内見学があった。
  - ①都立大森高等学校 担当教職員：山田・三澤・園田 模擬授業実施
  - ②都立蒲田高等学校 担当教職員：園田 同 上

## (3) 地域社会との連携に向けた事業

- ・下記の公開講座4件を実施した。
  - ①「幼稚園に入る前にこれだけは！」
  - ②「インクルーシブ教育システムについて考える」
  - ③「障害児の発達支援と保護者支援」
  - ④ Arcari Theatre（アーカリ・シアター）「尼さんと狂人」
- ・子ども教育実践総合センターによる地域の子育て支援事業を行った。
  - ① 親子サロン 22回実施 参加した親-子組延べ168件
  - ② 親子で楽しむ夏休み
  - ③ 子ども発達相談 処理したケース数は6件（現職教員2件、親-子4件）
- ・江東区及び近隣学校等での活動を行った（5件）。
  - ① 諸井 泰子 江東区文化コミュニティ財団 外部評価委員
  - ② 同 上 同 上 区民企画講座審査委員
  - ③ 深沢 瑞穂 江東区教育委員会 幼稚園主任研修会講師
  - ④ 前原 恵美 江東区立有明中学校 合唱コンクール審査委員
  - ⑤ 大貫裕子・花柳翫一・前原恵美 江東区文化コミュニティ財団  
「公開講座 三味線・日本舞踊・声楽一日体験」

(以 上)

## 平成26年度 日本音楽高等学校 学校経営指針に基づく事業報告

I 目指す学校経営 この目標を達成するためにIIの通り実施した。

### II 平成26年度の取組み

#### 1 生徒募集への積極的な取組み 平成27年度入学者数等

| 入学者数(68名)の内訳 |          | 応募者数91名 |    | 受験者数91名 |    | 合格者数89名 |  |
|--------------|----------|---------|----|---------|----|---------|--|
| 幼児教育         | A 5(6)   | B 0(0)  | 一般 | 4(5)    | 合計 | 9(11)   |  |
| 音楽           | A 5(11)  | B 0(0)  | 一般 | 5(5)    | 合計 | 10(16)  |  |
| バレエ          | A 22(17) | B 2(0)  | 一般 | 3(5)    | 合計 | 27(22)  |  |
| 舞台芸術         | A 14(12) | B 2(3)  | 一般 | 5(4)    | 合計 | 21(19)  |  |
| 合計           | A 46(46) | B 4(3)  | 一般 | 17(19)  | 合計 | 67(68)  |  |

- ・目標の100名の実現が出来ず、昨年度の68名にも届かなかった。
- ・昨年度よりも都内生徒が4名増加(24名から28名)、幼児教育コースが2名減少(11名から9名)、音楽コースが6名減少(16名から10名)、バレエコースが5名増加(22名から27名)、舞台芸術コースは2名増加(19名から20名)で全体で1名減少(68名から67名)した。
- ・平成28年度の募集においては、都内生徒の増加、幼児教育コース、音楽コースの増加とバレエコース35名以上、舞台芸術コースを25名以上確保すること等が必要である。

#### 2 入学選抜の適正な実施

- ・入学選抜に係わる試験問題の検討と作成及び願書の受付から合格発表、入学手続きまでの入学選抜に係わる進行管理は適正に行われた。

#### 3 高校生活への満足度が高く健康で明るく礼儀正しい生徒の育成

- ・原則に基づきつつも柔軟な指導で高校生活への満足度を高め、非進級者数0を目指して先生方による丁寧な指導が行われた。0は実現できなかったが、昨年度の非進級者数11名より少し減少させる事が出来た。0の実現を目指す事が必要である。
- ・平成26年度の次学年への非進級者数は(3年は非卒業生数)

|                             |                  |
|-----------------------------|------------------|
| 1 幼2名、1 音1名(+1)、1 バ1名、1 舞3名 | 1年7名(4月1日付在籍68名) |
| 2 幼0名、2 音1名、2 バ0名、2 舞0名     | 2年1名(4月1日付在籍85名) |
| 3 幼0名、3 音2名、3 バ0名、3 舞0名     | 3年2名(4月1日付在籍67名) |
| 合計幼2名、音4名(+1)、バ1名、舞3名       | 全体合計10名(+1)      |

- ・HR等での細やかな指導や保護者との情報交換を時機を逸せずに行った。校則を守らせる指導、教室を含めた校内の美化整備を学校として更に進める事が必要である。

#### 4 基礎的な学力の定着及び生涯学習の意欲の向上と希望の進路を実現する学力の養成を図る

- ・生徒の興味関心を喚起し理解度を高め学ぶ意欲を育成する授業の改善を組織的に行い学校としての授業力の向上を図る為、年に2回生徒による授業評価を実施し、その結果に基づき教員全員での研修会を2回行った。各教員が個人の結果に基づき、課題と改善の具体的な方法を報告しそれに基づき意見の交換を行い授業の改善方法についての共通認識を図った。授業評価の意義を教員自らが理解する事が今後の課題である。

- ・平成26年9月24日(水) 教員研修会(1回目)
- ・平成27年2月4日(水) 教員研修会(2回目)
- ・基礎的な学力の向上と定着のために朝学習を実施した。  
月曜日から金曜日までの5日間と必要に応じて土曜日に音楽を実施

実施時間は午前7時40分から8時10分までの30分間

国語 月（基礎） 水（実力） 数学 金 英語 火（基礎） 木（実力）

音楽 土 1回300円を授業者に支払う。

国語 森田教諭50回 奥山教諭50回 数学 伊庭教諭27回 英語 菅沼教諭56回 児玉教諭56回 音楽 松田教諭12回 小川教諭13回 実施した。

- ・今年度は、国語と英語において、基礎学力の定着と実力の養成に分けて曜日を設定したが、参加者数は少数であった。
- ・学習意欲の喚起と持続的で自主的な学習習慣の定着の工夫を行い、来年度も学習の場としての朝学習の機会は設けたい。
- ・希望の進路の実現を目指し、学力の向上のために放課後と夏季休業日に講習を実施した。

1コマ（90分）1000円を授業者に支払う。（講師を除く）

第一期 平成26年7月22日（火）、23日（水）、24日（木）、25日（金）

第二期 平成26年7月28日（月）、29日（火）、30日（水）、31日（木）

7月22日（火） 日本史B、倫理、数学

7月23日（水） 日本史B、倫理、数学

7月24日（木） 日本史B、倫理、数学

7月25日（金） 日本史B、倫理、数学

7月28日（月） 国語（実力、基礎）、英語（実力、基礎）

7月29日（火） 国語（実力、基礎）、英語（実力、基礎）

7月30日（水） 国語（実力、基礎）、英語（実力、基礎）

7月31日（木） 、英語（実力、基礎）

森田教諭90分×4コマ 奥山教諭90分×4コマ

塚本教諭90分×4コマ 伊庭教諭90分×4コマ

菅沼教諭90分×4コマ 児玉教諭90分×4コマ

鈴木講師90分×4コマ（出講票にて対応）

## 5 一歩進んだ自己実現を図る系統的で組織的で個に応じた進路指導を実施

- ・各学年とも年間計画に基づきそれぞれの企画が実施された。

学年全体での企画として、面接への対応についての指導、進路ガイダンスと受験体験報告会を実施した。

- ・進路体験報告会の実施

平成26年7月14日（月）2校時 全生徒対象

講師は飯島（旧姓高須賀）萌（めぐみ）さん（本校音楽科バレエコース平成15年3月卒業、日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科平成19年3月卒業）

- ・進路ガイダンスの実施

平成26年12月13日（土）2、3校時 1、2年生対象

2校時、3校時 有明教育芸術短期大学（短大希望者を含む）、四年制大学6校、

専門学校10校、2、3校時で入れ替え2校の説明が聞ける様に設定

四年制大学希望者は大学のパンフレットに基づき調べ学習

- ・受験体験報告会

平成27年3月18日（水）6校時 1、2年生対象

今年度の各コースの卒業生一人ずつ、合計4人に受験に向けた高校での学習などを含めた高校での生活の話しをしてもらった。それぞれの話しを1、2年生は真剣に聞いていた。

一歩、二歩進んだ進路希望を立て、実現のための具体的な行動を起こす様に個別の指導を含めて計画的に進路指導を引き続き行うことが必要である。

話しをしてもらった卒業生

幼児教育コース 上田誉子（有明短大子ども教育学科）  
 音楽コース 荒井雪乃（東邦音大音楽学科ピアノコース）  
 バレエコース 白鳥萌（バレエアカデミー（ドイツ・ミュンヘン）へ留学）  
 舞台芸術コース 辻良美（洗足学園音大音楽学部ミュージカルコース）

- ・平成26年度卒業生の進路状況は次の通りである。
  - ・幼児教育（16名） 大学4 短大11（内 有明短大10） 専門学校1
  - ・音楽（15名） 大学9 短大3（内 有明短大1） 専門学校2 留学1
  - ・バレエ（18名） 大学4 短大5（内 有明短大1） 専門学校2 留学2 バレエ団名未定5
  - ・舞台芸術（16名） 大学7 短大1 専門学校3 留学1 劇団1 未定3
  - ・全体（65名） 大学24(36.9%) 短大20(30.8%) 有明短大12(18.5% 短大に対する割合60.0%) 専門学校8(12.3%) 未定10(15.4%)
  - ・今年度は有明短大への進学予定者が12名と昨年度の2倍となった。短大進学予定者の60%が有明短大へ進学予定である。幼児教育コースでは短大進学予定者の91%が有明短大へ進学予定である。音楽コース、バレエコースからそれぞれ1名が有明短大への進学予定である。次年度からは有明短大との関係を更に深め、本校での短大の先生による模擬授業の実施などを行い、幼児教育コース以外からの進学予定者の増加を図ることが必要である。

#### 6 学校生活への充実感を高める部（クラブ）活動の活性化

- ・合唱部、吹奏楽部、演劇部、ダンス部、バドミントン部、フットサル部、バレー部などの活性化
  - ・合唱部
    - ・NHK全国学校音楽コンクール東京都予選金賞、本選優良賞受賞
    - ・JCDA（日本合唱指揮者協会）合唱の祭典2014に出場
    - ・春のコーラスコンテストに出場
    - ・大森ベルポートでの第九の合唱に出場
  - ・ダンス部
    - 第61回東京都高等学校舞踊研究発表大会に出場
    - 第67回全国中学校高等学校ダンスコンクールで奨励賞受賞
  - ・吹奏楽部
    - 校内での積極的な演奏活動を行った。（入学式、卒業式、日音祭、総合的な学習の時間の舞台発表（サウンドオブミュージックの上演））
  - ・演劇部
    - 東京都高等学校演劇連盟山手城南地区発表会に出場
  - ・フットサル部
    - 大会に出場
    - 平成26年6月22日（日）にレディースカップフットサル大会に出場した。

#### 7 研修の充実…生徒の学習意欲の喚起、学力の向上、円滑な学級経営、分掌運営のできる教員の育成

- ・平成27年1月28日（水） 「理想の日音」についての研修結果発表会  
 理事長先生から頂いた研修テーマ「理想の日音」について、教員が3つの班に分かれて4回（平成26年10月15日（水）、11月12日（水）、12月10日（水）、平成27年1月14日（水））研修を行い、各班のまとめを報告し、情報交換を行った。理事長先生からこの研修の成果から実現可能な課題については、短期、中期、長期に分けて具体的な方法を検討する様にとのご指導を頂いた。
- ・各分掌の会議、学年会などで具体的な生徒指導に係わる事例の報告があった場合には時機を逸することなく機敏に全教員で情報を共有するように朝の打ち合わせも含め行った。
- ・今年度は実施出来なかったが、担任の生徒指導、保護者対応に対して、校長、教頭を含め、教員全体がいつでも適切に支援できるようになるために、外部講師による教員の研修の機会を設けたい。

- ・生徒による授業評価に基づき、教員全体での研修会を行うなど、一人ひとりの教員の授業力の向上に努め、生徒の授業への興味関心の喚起と理解度の向上を図った。
    - ・平成26年9月24日（水） 生徒による授業評価に基づく教員研修会（1回目）
    - ・平成27年2月 4日（水） 生徒による授業評価に基づく教員研修会（2回目）
  - ・赤点を取った生徒への効果的な指導法について、朝学習、放課後講習の実体のある活用を含め、具体的な方策を指導法を含め引き続き検討する。
  - ・授業への興味関心を高め、学習意欲を喚起するために教材研究や授業方法の工夫などが一人ひとりの教員によって進められている。今後はその実践報告を含め、研究授業の実施等も検討したい。
- 8 開かれた学校づくり…外部へ本校の教育内容と生徒の良さを積極的に広く情報提供
- ・学校運営連絡協議会の実施  
平成26年6月20日（金） 実施  
出席者は
 

|        |          |                   |
|--------|----------|-------------------|
| (外部委員) | 保護者代表    | 石幡亮（父母と教師の会会長）    |
|        | 同窓会代表    | 栢島友子（同窓会会長）       |
|        | 地域関係機関代表 | 蜂屋隆子（品川区立大崎中学校長）  |
|        | 地域社会代表   | 綱嶋信一（品川区商店連合会副会長） |
| (内部委員) | 校長       | 井田良克              |
|        | 教頭       | 松本幸浩              |
|        | 事務局長     | 根岸順一              |
  - ・学校側から、本校の概要、教育活動の計画、魅力ある本校の教育内容、募集状況などについて説明した。募集を含めて本校への支援、協力を要請した。
  - ・その後の情報交換の中で、地域の中に積極的に出てくる様になり日音の知名度も上がり、評判も良く成ってきているとのご意見を頂いた。今後も地域に出てきて更に日音、日音生の良さを伝えるために場所や機会の提供を続けるとのご意見も頂いた。
  - ・本校の公開行事への地域の方の参加も増えてきており、更に定着させ、中学生の入学の増加に繋げる方法の一つとして、来年度も年間一回開催する予定である。
  - ・生徒の地域での活躍
    - ・3年幼児教育コース ゆたか児童センターで赤ちゃんとの触れ合い講座に年間6回参加（全体12回）。企画にも関わりクリスマス会などを実施した。  
参加した赤ちゃんの母親から本校生徒へのお礼の気持ちと励ましがアンケートに寄せられた。
    - ・品川区ブラインドサッカーフェスティバルでの本校生徒の演奏  
平成26年9月15日（火）成人の日 品川区立中央公園
    - ・品川区民芸術祭区民作品展に生け花を出品  
スクエア荏原ひらつかホールにて、平成26年11月12日（水）から11月16日（日）
    - ・品川区民まつりにボランティアとして参加  
旧品川区立荏原第四中学校にて 平成26年7月20日（日）
    - ・品川区幼保小中高ふれあい交流会に参加（本学園の幼稚園と一緒に）  
品川区立三木小学校にて 平成26年12月19日（金）
    - ・大森ベルポートで第9を歌おうに参加  
今年度で六年連続参加し、本校生徒の演奏の時間もいただいている。  
大森ベルポートにて 平成26年12月23日（火）
    - ・地域の清掃、防犯活動に地域の方々、荏原警察署の方々と一緒に参加  
学校周辺の地域で、数回実施した。

・授業、学校行事の積極的な公開

- ・授業参観 平成26年12月11日（木） バレエコース、舞台芸術コースの特別レッスンの日に合わせたこともあり、保護者が38名参観し、授業内容についての好印象や課題などをアンケートで述べている。
- ・日音祭 平成26年6月15日（日）
- ・バレエコースによるコンサート（学校説明会と併せて） 9月13日（土）
- ・総合的な学習の時間の舞台発表（サウンドオブミュージックの上演）  
10月11日（土） 12回目の上演で、会場内に大きな感動を与えた内容。
- ・舞台芸術コースのコンサート（学校説明会と併せて） 11月1日（土）
- ・音楽コースのコンサート（学校説明会と併せて） 11月29日（土）
- ・卒業公演 平成27年2月28日（土） 三年間の学習の成果の披露として4コースの公演が行われ、立見が出る程参加者が多く内容についても好意的な評価がほとんどであった。

・学校施設の開放

- ・平成26年度品川区立中学校PTA連合会活動発表大会  
平成27年1月31日（土） 午後1時から5時 本校三浦記念ホールにて  
品川区教育委員会の課長も挨拶に来られ、活発な発表が行われた。  
本校の学校案内と本校の品川区での活動内容を記載したA4版の資料を全参加者に配布した（約400部）  
大会の開始の冒頭で井田校長から本校の概要説明を行った。  
品川区立中学校長会の会長の米塚裕貴浜川中学校長の挨拶の中で本校の特色についても触れていただいた。

## 平成26年度 日本音楽学校幼稚園事業報告

平成26年度の幼児教育を取り巻く環境は、国が進めている「幼稚園教育」と「保育園」とを一体にした「認定子ども園構想」の平成27年度の施行を目ざして、区からの説明が数回ありました。しかし、「健学の精神がやりにくくなる事」、「公定価格が明確でない事」「事務処理の煩雑さ」等から品川区私立幼稚園協会18園、全園が現状のままの経営方針であり、新制度への移行はありませんでした。

本園の園児の状況は、3歳児入園時は35名の定数が満たされても、転居、保育園への転等があり、年長児には定数に欠ける現象が見られます。

3歳児も在園児や卒園児の弟妹の数が多い時は質の問題もあまりみられないのですが、外部からの入園が多い年は、特別支援を必要とする園児が多くなり、クラス担任だけの対応だけでは、応じきれぬ状態です。

2歳児教室（有料）、園庭解放（無料）の需要も多いのですが、教員数の少なさや、空き教室の無い点から一步前に進めないのは残念です。

保護者の状況は、定期的に仕事を持つ母親や預かり保育を常時利用しないが、短時間の仕事を持つ母親が増えてきました。

その影響か、母の会の役員決めや個人面談の日程決め等に支障が出てきています。

一方、預かり保育の補助金に対する東京都の要求は平成26年9月に入り、急に条件が厳しくなりました。

預かり保育の日数は「開園日の9割以上」及び「長期預かり保育の日数の増加」が求められてきました。夏期保育・21日以上 冬期保育・6日以上 春期保育・・・8日以上

当園の平常時の預かり保育事情は、月決め者は20名前後、単発利用は6～7名と減少気味ですが、早朝保育の月決め希望者が4～5人と増加の傾向がみられます。

それに対し、長期休業期間の利用数は1日、平均33名の利用数となっています。

早朝7：30～午後6：30という11時間保育という長時間の預かり時間は、専任者が1名の為、補助者の雇用数も増加せざるを得ない現状であり、教員負担も多々みられます。

品川区の小学校教育は小中一貫校や単独校と各自が選択できる事から、本園からは11校位に分かれて進学しています。

入学すると小学校の教科の進みは速度が速く、ひらがなの読み書きや数の理解が出来ていないと、いじめや不登校にもつながっていく現実がみられます。

よって、基本的生活習慣は勿論ですが、五領域を大切にしながら幼稚園から小学校へのスムーズな移行が出来る様にとします。

### 1 子どもへの育ちへの年間教育重点目標に対する報告

○ 平成26年度は「人とかかわり」に関する領域より・・・「人間関係」を重点目標としてきました。

《他の人々と親しみ、支えあって生活するために自立心を育て、人とかかわる力を養う》

ねらい：①幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう

②進んで身近な人とかかわり、愛情や信頼感をもつ

③社会生活における望ましい習慣や態度を身につける

以上の様な「ねらい」をもって、各学年とも取り組んできました。例えば、年少児は「おもちゃの貸し借り」が出来るようになり、年中児は園にきて友達と会える喜びや一緒に遊ぶ楽しさを感じ、年長児は大勢の友達と一緒に遊びが出来る様になり、トラブルも自分達で解決するなどの力が育っています。

更に年長児は特別支援を要する友達や、年少、年中児にもやさしく声をかけ手伝う姿等もみられ、年少、年中児の手本となり目指し目指される関係がうまれています。



## 2 教員の資質の向上への取り組みについて

### ○ 研修への参加、報告（園内、外部）

- ・ 教員会は月 1 回ですが、特別支援の問題が多く、その為、全教諭で把握できるようになってきました。
- ・ 朝の打ち合わせの時間は連絡事項を優先させながらも、日々研修であるように取り組んできましたので教員間の研修の一つになってきました。
- ・ 今年度も外部研修は「特別支援」の研修や品川区私立幼稚園協会主催の「研修」には参加してきましたので日常の保育の中では役立っています。  
又、特別支援児が個人的に通所中の「リーフ ジュニア」の中目黒教室には担任が見学に行く事が出来ました。
- ・ 園行事と重なること、教員数に余裕が無い事、預かり保育の休みが取りにくい事等が重なり外部への研修への参加はいきにくいのが現実です。
- ・ 保育園と幼稚園の教員間の交流、研修は今年度も実現しませんでした。保育園児が預かり保育の時間帯に園庭に遊びにくる様になりました。

## 3 園と保護者とのつながりについての報告（含 預かり保育）

- ・ 子ども達の教育環境を良くしていくには、保護者の園活動への理解や協力がどうしても必要です。保育参観、懇談会、公開保育、個人面談、家庭教育学級などを通し、働きかけていますが、働く母親が増えてきた事もあり「家庭教育学級」では保育中の参加者が限られている面がみられます。
- ・ 日常の保育については、今年度も預かり保育専任者と担任、当番の教員との連携は細やかにする事により効果をあげています。  
例：預かり保育のお迎えの時間に平常時の子どもの様子を伝えたり「連絡事項の説明」をしたり「個人面談」を預かりの時間に実施するなどと便宜を図り、園活動や子どもへの理解を深めてもらえるように働きかけています。

## 4 幼稚園と小学校との連携についての報告

一定の小学校とは給食体験、ふれあい交流会、就学時連絡会などと連携が出来てはいるのですが、11校にも進学先が広がっている点では、2月～3月の就学時連絡会に出向くだけでも年長の担任は多忙になっています。

## 5 地域との関係

- ・ 子育て支援として：園庭開放の実施（無料） 年間を通し 月 1 回 水曜日  
午前 11 時 45 分～午後 0 時 30 分
- ・ 子育て相談・園庭解放や2歳児教室開催の日に行っています。  
以上の事は地域の皆様に好評です。

## 6 平成27年度入園募集への取り組みについての報告

近隣の私立幼稚園の多くは有利にて2歳児入園を実施し、3歳児入園につなげています。平成27年度への取り組みでは、在園児、卒園児関係の弟、妹が14名でしたので外部からは21名が3歳児入園となり年少組の園児は35名でスタートしました。

また、平成27年3月時の年少組からは2名が転居の為、年中組に進級しない事が事前に判っていましたので、平成27年4月と5月に各1名、計2名を補充する事ができました。

## 平成26年度日本音楽学校保育園事業報告

### 《年間事業計画》

#### 基本方針

- ・ 日本音楽学校保育園は保育園の基本方針・保育目標・保育方針を基本に保育内容を検討立案し、一人一人の園児の発達に合わせながら日々の保育を実践してきた。又、日本音楽学校がめざす建学の精神であるあいうえお（愛情・意欲・うつくしい言葉・笑顔・思いやり）を大切にしてきた。
- ・ 認可園13年目を迎え、0歳児9名・1歳児11名・2歳児11名・計31名で保育を実施している。

#### 保育実践

- ・ 園目標実現の為、保育課程を基本に・各クラスの指導計画のもと、個を尊重した保育を実施してきた。
- ・ 年間を通してわらべうた・手遊び・表現遊び・製作や体育用具を使って、身体を動かす遊びを設定しバランスの取れた成長ができるように保育を進めてきた。絵本・パネルシアター・エプロンシアター等に触れる体験も多く持ち、想像力が豊かに育つように心がけてきた。子ども達の発達に合った職員による手作り遊具や、コーナー遊びを充実させ、模倣やごっこ遊びを楽しめる環境を用意した。
- ・ 公園での遊びもたくさん取り入れ、四季折々の自然に触れたり、いろいろな遊具で遊ぶことが出来た。
- ・ 天候等の関係で園外に行けない時は、朝のおやつ後ミニ集会を実施した。各保育士が創意工夫して、パネルシアター・寸劇・歌・リズム遊び等を実施し、毎回子ども達が喜びみんなで楽しんできた。
- ・ 数年取り組んできた室内の環境構成も、基本ラインが一定してきて、落ち着いて満足した遊びが展開されている。次年度は1・2歳児がさらにじっくり遊べるような工夫も検討中である。保育時間が長いこども達にとって、どんな環境の中で生活し、安心して楽しく遊べ成長できるかを考えあつて進めていきたい。
- ・ 年間通して日本古来の行事や、保護者と共に楽しむ行事、誕生日会等も創意工夫し進め、どの会も保護者の参加人数が多く、楽しめたとの感想がたくさん寄せられ、職員も励みになっている。
- ・ 2歳児は身近な野菜の栽培を体験し、食に関心を持ったり、クッキングについては、9月から毎月取り組んできた。毎回楽しみながら食材に触れ、自分で作ったものが口に入ることの喜びも味わった一年となる。3月には1歳児クラスも参加し、進級の期待にも繋がった。調理職員の食材の準備やサポートも良く、まだ小さい年齢だが今後も食への関心を高める意味でも続けたい。

#### 地域交流

- ・ 全ての行事に地域の方をお誘いし、近年、入園前の見学者も多いので、行事への参加を呼びかけて保育園の様子を伝えたり、公園などでの声掛けや、ポスターを掲示し、気軽に足を運んでもらい、園児と一緒に楽しんでもらえるようにしてきた。とどらぁ祭では近隣の保育園の参加もあり盛り上がった。ハロウィンでは、地域の方々とのつながりもあり、お菓子を頂いたり身近に親しく交流をさせてもらっている。お礼にこどもが制作した飾りを差し上げ喜んで受け取って頂いた。

施設見学来園者・・・31名（出産前～2・2歳）

- ・ 保育園との交流は、今年度も二葉保育園・ゆたか保育園の泥んこ遊び・夏祭り・焼き芋・餅つきの行事に参加させてもらったり、園の行事では「ベンちゃんと遊ぼう」「とどらぁ祭り」「人形劇」等

に来て頂いた。特に地域の保育園交流では、自園では体験できない多くの事を体験させて頂いて、卒園後にも繋がっている。ゆたか児童センターには0～2歳児が遊びに行き、三ツ木児童センターでも遊ばせてもらった。園にはない物があり楽しい場所にさせてもらっている。来館してきた地域の方との触れ合いの場にもなっている。図書館の利用は社会に触れる経験となっている。

- ・ 園児の祖父母との交流実施。高齢者施設訪問は近隣になく、今後チャンスを見つけ交流したい。

## 職務分担・職員勤務形態

- ・ 各係は計画を立て職員会議や事務連絡表にて全職員に知らせ、計画に沿って実施することができた。
- ・ 今年も大きい行事や保護者会等の後には、保護者より感想を伺いとどろあだよりでお知らせした。職員も親の思いが伝わるので、次の計画や保育内容に役立てることができた。いつも全員の協力が得られるので、園への思いが伝わり大切にしたい。玄関の「ホットフォト」もその日の事がタイムリーに分かり、親子の会話に繋がっている。撮影もこども達の様子が伝わるように、全員を載せ、笑顔のショットが伝えられる様にしている。。
- ・ 今年度も慣れている、臨時職員（アルバイト）を入れていただき、保育の補助や用務の仕事をしてもらったことで、充実した保育を実施することができた。
- ・ 1・2歳児クラスの保育時間が長いので、人数に応じたシフトの配慮をし、特に夕方疲れも出てくるので十分受け入れられるように、職員同士連絡を取り合って保育内容を確認しながら進めてきた。
- ・ 運営に関しては、常に事務所と連絡・相談し合いながら進めてきた。
- ・ 今年度2名の新人が入り、細かい打ち合わせを繰り返したり、個別指導をしながら、保護者が安心して子どもを預けられる保育士になるように、職員皆で新人職員の育成に力を注いできた。

## 研修（園内自主研修及び園外研修参加）

### 園内研修

- ・ リズム遊び研修に参加・・・園で職員に還元して日常の保育やお楽しみ会の集会・運動会音楽会に取り入れて実践してきた。参加して実際、体験の中で教材を選べるので、子ども達に合った内容が選べたので今後も参加して保育内容を深めたい。
- ・ 品川区主催の研修への参加を、職員会議で還元して学んできた。

## 年間保育内容（園児状況）・行事状況

### 一期（４・５・６月）

- ４月１日新入園児１２名が入園、０歳児クラス１名欠員・・・３０名で２６年度保育開始。  
０歳児は４月～１２月生まれ間での子で、月齢の高い子はつかまり立ちやはいはいも活発なので、サークルを活用して２グループに分かれ、保育を進めた。１歳児は３月生まれ入園と全体に月齢が低いので散歩カーを使ったり、一遊びすると眠くなるので、早めに食事を摂ってきた。  
２歳児は一つ大きくなったことが嬉しく、会話がはずみ行動が早くなった。  
アレルギー児・・・０歳（卵アレルギー１名）と１歳（乳製品完全除去１名）。
  - ・ 調理業務会社をフジ産業に変更。
  - ・ 年間を通して有明短期大学・高等学校の実習生・ボランティアを受け入れる。
  - ・ ４月「はじめましての会」新入園児・進級児紹介、パペット人形劇や職員の自己紹介。
  - ・ ４月「全体保護者会」園の基本方針や保育計画・行事予定等園長が説明する。その後職員・親子紹介・
  - ・ ２歳児が歌を披露したりして、保護者とのコミュニケーションを図った。
  - ・ ４月より「ベンちゃんと遊ぼう会」を開始（月１回２歳児中心に製作遊び）。
  - ・ ５月１日付け０歳児１名入園で３１名となる。
  - ・ ５月「こどもの日のお祝い」元気で丈夫に育つように・・・と願いを込めて、パネルシアターでの話や、相撲ごっこを楽しんだ。各自のこいのぼり製作を持ち帰った。
  - ・ ５・６月「母の日」「父の日」・・・ファミリーデイとし手作り写真立てを家族にプレゼントする。
  - ・ 交流保育・・・二葉・ゆたか保育園で砂場、どろんこ遊び。ゆたか・二葉保育園を招き製作遊び。
  - ・ ６月「保育参加」実施。日常保育の様子を知っていただき、食事提供や個人面談も行う（希望者のみ）。
  - ・ 夏野菜の栽培（ピーマン・サトイモ・トマト・オクラサツマイモ）ひまわりの水やりを楽しむ。
  - ・ 金魚のえさやりやお掃除を見て、身近で生き物に触れる機会を作った。
  - ・ 防災用品の見直しで、６号館に非常食品をまとめて保管し緊急時に備える。防災頭巾と避難靴・靴下のサイズ確認し、靴のサイズ不足分３足購入。

### 二期（７・８・９月）

- 各クラスすっかり落ち着きが出てきて、夏ならではの遊びでは、０歳児は温水プールから出たがらないほど大好きで、１歳はやや慎重だが、後半は水になれ楽しめた。２歳児は大好きなプール遊びを満喫した。ベンちゃんからダイナミックな遊びを教わり夏の遊びが盛り上がった。
  - ・ ７月「プール開き」学生会館で実施。プール遊びの約束事を寸劇で知らせる。ダンス等楽しむ。
  - ・ ７月「七夕の会」今年も、保護者から願い事を書いてもらった短冊と、笹飾りをして七夕を迎えた。七夕の話を手遊びや歌で知らせた。昼食のカレー（星型人参入）も良く食べ、おやつには星型のホットケーキを出してもらい喜んだ。９月始めの「プール閉め」実施。
  - ・ ９月「お月見団子作り」２歳児が団子作りで初めてのクッキング体験をする。
  - ・ ９月「敬老の会」園児祖父母１３名の参加。各クラスの出し物、２歳児クラスと触れ合い遊びを楽しまれ、茶話会でくつろいで頂く。
  - ・ ９月「とどろあまつり」今年も学生会館とその横の中庭で実施。二葉・ゆたか保育園や日音の幼稚園児も保護者も多数参加頂いた。盆踊りや手作りおもちゃの６舗（ベンちゃんも一店舗参加）での買い物、カフェでのクッキーが好評だった。夕方は御神輿や山車で近所を周り一日中祭り一色で盛り上がり楽しめた。参加者から手作りおもちゃ（腕時計・金魚・お面）喜んだとの感想が寄せられた。

### 三期（10・11・12月）

○ 0歳児は歩ける子も増え行動範囲が広がってきたので、大好きな公園や二階での遊びには十分注意しながらも探索活動をたくさんさせ歩行の喜びを満たしてきた。1歳児は月齢差があり、散歩カーを使用して子どもの様子で手繋ぎしながら、公園までの散歩を楽しめるようにした。自己主張もはっきりしてきたので少人数での関わりを大切にしてきた。2歳児は行事をいろいろ体験し、自分から楽しんで参加する姿が多く、話をよく聴き行動が取れるようになってきた。どのクラスもリズム遊びが大好きで、保育の中でたくさん取り入れて楽しませてきたことが、表現の豊かさに繋がってきて、いろんな場面で披露しあっている。

- ・ 10月「運動会」晴天に恵まれ、157名の参加で『笑』をテーマにし、各競技に趣向を凝らし楽しんだ。保護者の方は競技に出ることを楽しみにして、積極的に参加されるので、とても盛り上がった運動会になった。片付けを多くの保護者が協力下さりととても助かった。
- ・ 10月「ハロウィン」朝からそれぞれの仮装で盛り上がり、集会で紹介し合い楽しい会になった。今年もハロウィン飾りのバックで散歩し、外でお菓子貰うイベントを楽しんだ。地域の方との交流もでき、お菓子まで頂く。後日、お礼の手作り写真入リースを届ける。衣装・・・保護者の協力が大きい。
- ・ 11月個人面談実施。各家庭の様子や園の生活、子育ての相談。
- ・ 11月「お楽しみ会」みちくさの皆さんによる人形劇を楽しむ。二葉・ゆたか保育園も参加あり。
- ・ 育てたサツマイモの収穫で、思ったよりたくさん芋が獲れ、スイートポテトで食べた。身近で芋ほり体験ができ毎年実践したい。学生会館中庭での栽培は水やりなどしやすく今後も利用願いたい。
- ・ 12月「小さな音楽会」今年も、一年間交流してきた高校生幼児コースの学生さんにも出演してもらい子ども達も親しみを持って一緒に楽しめた。子ども達も歌ったり、踊ったり堂々と発表できた。毎年ご家族で多くの参加を得て楽しんでいただき、日本音楽学校保育園ならではの行事になっている。
- ・ 12月「クリスマス会」子ども達が製作したツリーを早めに飾ってクリスマスの雰囲気が出た。サンタ登場。ダンスをしたり紙芝居のプレゼントに大喜び。職員の演奏も加え楽しんだ。昼食のパンの盛り合わせや、おやつのケーキも大喜びだった。フジ産業（調理）さんの気持ちのこもった料理に感謝している。
- ・ 各クラスで手作り楽器を作り、いつでも手に取って音を楽しめるようにしたり、音楽に触れる機会を多くしていることが、ダンス好きだったり、歌も声がしっかり出せて、みんなの前に出て歌うのが大好きになって、表現がかわいらしく、音楽をかけるとすぐ踊りだす子ども達は「もう一回！！」と0歳児クラスまでリクエストをして遊んでいるので、今後も指導内容に取り込み深めていきたい。
- ・ クッキングについては、9月より毎月取り入れてきて、クッキー・ピザも作って楽しんだ。麺棒や調理板も個々に用意しているので、日頃の粘土遊びを活かし、手先を良く動かし集中して、楽しんでいる。

### ・ 4期（1・2・3月）

- ・ 各クラス共、この一年の保育を振り返って、さらに保育内容の充実を図る。低年齢児園ながら、2歳児は自分の気持ちをしっかりと伝えることができたり、いろいろ体験し、友達との遊びの広がりもみられ、手先が器用になり、製作遊びを好んで取り組む。ごっこ遊びや簡単な劇も役になりきり楽しめるようになった。1歳児は言葉も豊かになり、行事の参加も集中して話を聞こうとしたり、行動も早く毎日の遊びを十分楽しんでいる。0歳児も月齢の高い子は、保育士と手を繋いで歩くことを好み近所の公園から園までしっかり歩く。リズム・絵本・手遊びが大好きで催促して楽しんでいる。
- ・ 1月「新年おめでとう会」今年も獅子舞を登場させた。新年を迎えみんな健康で良い年になるように

頭を噛んでもらった。保護者からもわが子紹介のカルタを書いてもらい装飾にさせてもらった。二葉保育園のお餅つきに招待されたので、二葉保育園を招いて一緒に楽しんだ。

- ・ 2月「豆まき会」今年も『聞かせやけいたろう』と称する絵本の読み聞かせのボランティアの方に、楽しい話や『鬼のパンツ』の手遊びと絵本を読んでもらった。ウクレレで謡いながら進めるので、親しみが増した。その後、鬼に豆をまき自分の弱い鬼を退治した。鬼の顔にした昼食もよく食べた。
- ・ 2月「保護者会」この一年のこども達の成長を振り返って、保護者の方の思いをたくさん話してもらう事をねらいとした会にした。参加者も多くコミュニケーションもとれた。園への感謝の言葉もたくさん頂いた。欠席の保護者には後日参考資料・レジュメをお渡し説明した。
- ・ 3月「ひなまつり」は歌やパネルシアターで歌ったり、ひな祭りの話を聞く。製作した雛人形を大切に持ち帰った。行事食や・おやつの雛あられ・カルピスも大喜びだった。
- ・ 3月「うさぎ組親子遠足」2歳児親子と担任・主任・園長引率で品川水族館に行った。お弁当は、一室貸切の場所で、親子でゆっくり食べることができた。
- ・ 3月「とどらあさよなら会」小ホールで実施する。

こども達、全保護者、職員みんなで2歳児の卒園・転園・進級のお祝いとお別れ会をした。

卒園児11名・転園児1名と進級児も参加者のあたたかい拍手を受け、アットホームな会となった。

特に2歳児は自分でしっかり歩き堂々と証書を受け取る姿に大きな成長を感じた。成長の姿を劇で発表し、一人一人役になりきった表現がとてもかわいらしく感動の場面だった。

- ・ クッキングはうどん・パン・1歳児クラス参加のクッキー作りと各月楽しめ、調理師の協力で細かい下準備がきちんとされていて、とてもやりやすかった。子ども達もクッキングが大好きで、出来立てを味わって満足している。

- ◎ 今年度は心身症等の保護者への配慮や、出産・退職・新人職員配属で職員の出入りがあり、クラスを越えて、全園児の状態や保護者対応の連絡・情報を蜜に取りながら進めた一年だった。

臨時職員（アルバイト）の援助で進めることができた1年でもあり、本当に助けられた。

- ◎ 行事等、いつも保護者の出席が良く、家族みんなでの参加も多いので、年齢は小さいが、楽しい雰囲気を経験させてあげることが出来て感謝している。

平成26年度 研修実施一覧

日本音楽学校保育園

<園内外研修>

| 月日                                        | 研 修 名<br>研 修 内 容                                                                                      | 講 師 | 時 間<br>対 象 者                  | 受講料                                |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------------------|------------------------------------|
| 5/1 (金)<br>6/6 (金)<br>6/20 (金)<br>7/4 (金) | 「わらべうたとおはなし」<br>講座及び実技講習会<br>コダーイ芸術教育研究所荻<br>野和代氏                                                     |     | 19時～21時00分<br>大河内・竹元 保育士      | 一人<br>1,500 円<br>× 2<br>(3,000 円)  |
| 6月26日<br>(木)                              | 「子育て支援について」<br>・ 発達障害の正しい知識と支援方法<br>上原芳枝氏                                                             |     | 14時～17時<br>安藤 保育士             | 品川区主催<br>無料                        |
| 7/23 (水)<br>7/24 (木)                      | 学研・夏の講習会<br>「遊び歌・ダンスを通して<br>保育で役立つスキルを磨く」<br>町田浩志・新沢としひこ・ケロポンズ<br>ロケットくれよん・鈴木翼他                       |     | 10時～18時<br>芝崎・與崎・木田・梶島<br>保育士 | 一日<br>7,200 円<br>× 2<br>(14,400 円) |
| 8月9日<br>(土)                               | こどものとも社「文化セミナー」<br>・『今日は何してあそぼうか』 中川季枝子氏<br>・『むしのかawaiiさ伝えます～絵本は自然の扉』 澤口たまみ氏<br>・『子どもと「ともに」生きる』 林 弘子氏 |     | 11時30分～17時40分<br>安藤・太田 保育士    | 一人<br>6,500円<br>× 2<br>(13,000 円)  |
| 9・12<br>(金)                               | 「子育て支援について」<br>・ 保育士の専門性を活かし、保護者支援と子育て<br>支援の役割を知る。 増田修治氏                                             |     | 14時～17時<br>木田 保育士             | 品川区主催<br>無料                        |
| 9・19<br>(金)                               | 「特別支援（２）」<br>・ 特別に支援を必要とする子どもの理解<br>上原芳枝氏                                                             |     | 13時30分～17時<br>太田 保育士          | 品川区主催<br>無料                        |
| 11・20<br>(木)                              | 「保育内容について」<br>・ 実技研修子どもの発達の特性、発達過程を理解<br>細田淳子氏                                                        |     | 14時～17時<br>芝崎 保育士             | 品川区主催<br>無料                        |
| 2・6<br>(金)                                | 「食育について」<br>・ 乳幼児期の食習慣の基礎を考え、食事への関心を<br>広げる 堤ちはる氏                                                     |     | 10時～15時<br>與崎 保育士             | 品川区主催<br>無料                        |
| 8・28<br>(木)                               | ・ 子どもの虐待について学ぶ                                                                                        |     | 18時30分～<br>金子・大河内・竹元          | N P O 法<br>人主催                     |